

「幼児期の子供を持つ保護者の皆様へ」

宮城県教育委員会

幼児期は、遊びを中心とした楽しい集団生活の中で、人との関わりを通して社会生活上のルールや道徳性、コミュニケーション能力を培い、将来にわたって心豊かに生きる人間に成長するためにたいへん重要な時期です。

新しい生活様式を踏まえた新型コロナウイルス感染症対策の実践と併せて、次の3点を大切にしていきたいと思います。

I 基本的な生活態度、習慣について

子供は正しいしつけがされてこそ豊かに育ちます。

- 1 「はやね はやおき あさごはん」など、健康な生活リズムで子供の心と体を元気にしましょう。
- 2 よい行いは褒め、認め励ますことで、行動に自信を持たせましょう。
- 3 やってはいけないことや間違っただけの行いはしっかりと叱り、何が悪かったのか一緒に考えましょう。
- 4 家族の一員としてできることからお手伝いなどの役割を持たせましょう。
- 5 「おはよう」や「ありがとう」など、気持ちのよい挨拶や返事をさせましょう。
- 6 自分の身の回りのことはできるだけ自分でさせ、自分でやり遂げることの満足感を十分に味わわせましょう。
- 7 人の話をきちんと聞く態度、他を思いやる心を育みましょう。

II お子様とのふれあいについて

子供が家庭で身に付けたことは生涯にわたって生き続けます。

- 1 子供の「気持ち」や「思い」を受け止める温かい家庭をつくりましょう。
- 2 親や家族一人一人の役割を大切に、協力して子供を育てましょう。
- 3 家族一緒の食事を大切に、テレビを消して子供の話を聞く時間を設けるなど、家族との会話を楽しみましょう。

III 友達との関係について

子供は遊びを通して多くのことを学んでいます。

- 1 友達と一緒に心ゆくまで遊びを楽しむ時間を大切にしましょう。
- 2 遊びの中で友達同士が助け合ったり、時には自己主張がぶつかり合ったりする体験を通して、友達と関わる力を育てましょう。
- 3 友達と楽しく生活する中で、きまりの大切さに気付かせ、守ろうとする気持ちを育てましょう。
- 4 自然の中で伸び伸びと遊ばせ、その楽しさを十分味わえるようにしましょう。